

日 誌 (昭和50年10月)

【国 内】

- | | |
|---|--|
| <p>9日 ○政府、昭和50年度一般会計補正予算案および財政投融資の追加を閣議了承(「要録」参照)</p> <p>23日 ○日本銀行、公定歩合の引下げおよび金融機関の預貯金等の金利の最高限度の引下げを決定(「要録」参照)</p> <p>24日 ○長期信用銀行等、割引金融債の発行条件の改訂を発表(「要録」参照)</p> | <p>○政府、政府短期証券割引歩合の引下げを決定(「要録」参照)</p> <p>28日 ○引受証券会社、事業債の発行条件改訂を発表(「要録」参照)</p> <p>31日 ○政府、郵便貯金等の利率の引下げに関する政令を公布(「要録」参照)</p> |
|---|--|

【海 外】

- | | |
|--|--|
| <p>1日 ○パキスタン中央銀行、預金金利引上げを決定</p> <p>3日 ○英蘭銀行の最低貸出歩合上昇(11.0→12.0%)
○豪州準備銀行、法定預金準備率引上げを発表(11月5日から実施)</p> <p>5日 ○オーストリア、総選挙を実施</p> <p>6日 ○ノルウェー、公定歩合の引下げを決定(5.55→5.0%、即日実施)</p> <p>10日 ○イタリア、中期経済開発計画の大綱を発表
○ポルトガル、ポルトガル銀行新総裁を決定</p> <p>14日 ○EC農相理事会、グリーン・ボンドの切下げを決定(英ポンド5.8%、アイルランド・ポンド2.22%、10月27日から段階的に実施)
○スリランカ、プランテーション国有化(有償)法案成立</p> <p>15日 ○米国連邦準備制度理事会、支払準備率の一部改正を発表</p> | <p>○秋季広州交易会開催(11月15日まで)</p> <p>19日 ○中国、全国農業会議閉幕(9月15日から10月19日まで)</p> <p>20日 ○米国、対ソ連穀物供給協定を締結
○西ドイツ5大研究所、共同景気見通し等を発表
○イスラム開発銀行(本店ジェダ)、業務開始
○日本・ハンガリー通商航海条約締結</p> <p>21日 ○日ソ両国、サハリン大陸棚石油・ガス探鉱プロジェクトに関するローン協定に調印</p> <p>23日 ○西ドイツ、国債買支えの停止決定</p> <p>26日 ○スイス、総選挙を実施</p> <p>27日 ○イタリア、ソ連に対する借款供与協定を締結</p> <p>28日 ○スイス、公定歩合の引下げを決定(3.5→3.0%、29日から実施)</p> <p>29日 ○フランス、商業マージン規制対象拡大等物価対策の強化を決定</p> |
|--|--|